２０１３年９月２日

動産・売掛金担保融資専用「ＡＢＬ総合補償プラン」の販売開始

株式会社損害保険ジャパン（社長　櫻田 謙悟、以下「損保ジャパン」）は、金融機関による動産・売掛金担保融資（Asset Based Lending、以下「ＡＢＬ」）において、融資先企業が抱えるリスクを総合的に補償することを目的として開発した専用パッケージプラン「ＡＢＬ総合補償プラン」を１０月１日保険始期契約から販売します。

１．背景と目的

企業の事業収益を審査し、不動産等の従来型担保ではなく動産・売掛債権等を担保とした融資であるＡＢＬは、法制面・運用面の整備等を経て、徐々に普及はしてきているものの、２０１１年度の経済産業省調査によるとＡＢＬを実行している金融機関は約半数に留まっています。

一方、ＡＢＬの取組みは、中小企業等の経営改善や、東日本大震災による事業復興・再生を図る資金のみならず、新たなビジネスの資金確保を支援することで地域金融の活性化にもつながることが期待されています。

このような状況を踏まえ、損保ジャパンは、ＡＢＬ融資先企業が抱える動産・売掛債権を取り巻くリスクに対して的確な補償の提供を目的として、物流総合保険、取引信用保険などをパッケージ化した「ＡＢＬ総合補償プラン」を開発し、金融機関によるＡＢＬの推進をサポートすることを決定しました。

２．本プランの特長

「ＡＢＬ総合補償プラン」は、物流総合保険、取引信用保険にＡＢＬ専用特約をセットしたもので、以下の特色があります。

（１）動産・売掛債権を取り巻くさまざまなリスクを総合的に補償

保管場所を問わず、融資先企業の動産に対する偶然な事故（火災、風災、水災、第三者による持ち出し、盗難、破汚損、虫食い、まがり、へこみ、輸送中・加工中の事故等※）や、売掛債権が取引先の倒産により回収できなかった場合に、その損害に対して保険金を支払います。

※対象動産によっては補償条件を個別に設定させていただきます。

（２）金融機関の意見を取り入れたＡＢＬ専用特約

商流の過程で変化する動産・売掛債権の財産的価値を全て担保権の対象とするＡＢＬの考え方にフィットした保険金支払・事務スキームを提供します。

（３）個別ニーズに応じた保険設計が可能

支払限度額や免責金額について複数の契約パターンから選択可能です。また、対象動産固有のリスクや必要な補償に応じて補償内容の拡大にも対応します。

３．本プランの展開方針について

損保ジャパンは、ＡＢＬ融資先企業、金融機関、動産評価会社等への本プラン提供を通じて、ＡＢＬの推進をサポートすることにより、中小企業等の資金調達手段の多様化に貢献していきます。

以上